

# 令和7年度長崎県立小浜高等学校 学校評価 生徒用アンケート

生徒数131 提出者数127 回収率96.9%

4:よくあてはまる      3:ややあてはまる  
2:あまりあてはまらない      1:まったくあてはまらない

評価項目	具体的評価内容	R6	R7	4の割合	3の割合	2の割合	1の割合
教育活動	1 学校の校訓「誠実な人」や指導方針を知っている。	3.5	3.3	43.3%	48.8%	7.1%	0.8%
	2 学校は保護者・地域社会に信頼されている。	3.5	3.4	43.3%	52.8%	3.9%	0.0%
	3 学校は保護者に学校の様子を知らせてくれる。	3.3	3.3	40.2%	50.4%	9.4%	0.0%
	4 科目や学科の説明がていねいになされている。	3.5	3.4	46.5%	45.7%	7.1%	0.8%
	5 授業はわかりやすい。	3.3	3.3	33.1%	60.6%	5.5%	0.8%
	6 授業以外で自主的に学習している。	2.7	2.5	11.8%	39.4%	38.6%	10.2%
	7 学校はテスト以外の力もきちんと評価してくれる。	3.5	3.5	51.2%	44.9%	3.9%	0.0%
	8 学校は生活規律や校則を守らせることに力を入れている。	3.4	3.3	43.3%	50.4%	3.9%	2.4%
	9 進路に関する情報が充分提供されている。	3.6	3.5	54.3%	41.7%	3.9%	0.0%
	10 先生方は悩みの相談に親身につけてくれる。	3.4	3.4	46.5%	45.7%	7.1%	0.8%
	11 部活動や学校行事を楽しみにしている。	3.3	3.3	51.2%	34.6%	11.0%	3.1%
	12 健康や安全についての連絡や指導が適切になされている。	3.5	3.4	50.4%	43.3%	6.3%	0.0%
	13 小浜高校に入学してよかった。	3.4	3.4	49.6%	41.7%	6.3%	2.4%
環境	14 学校はきれいに清掃されている。	3.3	3.3	40.9%	52.0%	6.3%	0.8%
	15 快適な学校環境のための施設・設備が整っている。	3.5	3.4	49.6%	44.1%	5.5%	0.8%
	16 環境問題に関心があり、何か取り組んでいる。	2.9	2.8	19.7%	49.6%	24.4%	6.3%
地域・連携	17 学校は保護者とのコミュニケーションを大切にしている。	3.3	3.2	31.5%	55.9%	11.8%	0.8%
	18 地域との交流は充分行われている。	3.3	3.3	41.7%	49.6%	8.7%	0.0%
	19 外部からの講師の講話や授業は役に立つ。	3.4	3.4	50.4%	41.7%	7.9%	0.0%
人権	20 周囲や相手のことを思いやって生活できている。	3.5	3.4	48.0%	47.2%	3.9%	0.8%

# 令和7年度長崎県立小浜高等学校 学校評価 保護者用アンケート

生徒数 131 提出者数 128 回収率 97.7%

4:よくあてはまる      3:ややあてはまる  
2:あまりあてはまらない      1:まったくあてはまらない

評価項目	具体的評価内容	R6	R7	4の割合	3の割合	2の割合	1の割合
教育活動	1 学校の校訓「誠実な人」や指導方針を知っている。	3.4	3.4	39.8%	55.5%	4.7%	0.0%
	2 学校は保護者・地域社会に信頼されている。	3.5	3.5	53.9%	43.0%	2.3%	0.8%
	3 学校は学校の様子を知らせてくれる。	3.3	3.3	37.5%	51.6%	9.4%	1.6%
	4 子どもに科目や学科の説明がよくなされている。	3.3	3.4	39.8%	56.3%	3.9%	0.0%
	5 授業はわかりやすいと子どもから聞いている。	3.1	3.1	25.0%	63.3%	11.7%	0.0%
	6 子どもは授業以外で自主的に学習している。	2.6	2.6	13.3%	42.2%	33.6%	10.9%
	7 学校はテスト以外の子どもの力もきちんと評価してくれる。	3.5	3.4	43.0%	53.9%	3.1%	0.0%
	8 学校は生活規律や校則を守らせることに力を入れている。	3.5	3.4	43.8%	52.3%	3.9%	0.0%
	9 進路に関する情報が充分提供されている。	3.4	3.4	50.0%	43.0%	7.0%	0.0%
	10 先生は子どもの悩みの相談に親身にのってくれる。	3.4	3.3	40.6%	53.1%	6.3%	0.0%
	11 子どもは部活動や学校行事を楽しみにしている。	3.4	3.4	53.9%	34.4%	10.9%	0.8%
	12 健康や安全についての連絡や指導が適切になされている。	3.5	3.5	47.7%	50.8%	1.6%	0.0%
	13 子どもを小浜高校に入学させてよかった。	3.7	3.7	68.8%	29.7%	1.6%	0.0%
環境	14 学校はきれいに清掃されている。	3.7	3.7	67.2%	32.8%	0.0%	0.0%
	15 快適な学校環境のための施設・設備が整っている。	3.7	3.6	60.9%	35.9%	3.1%	0.0%
	16 子どもは環境問題に関心があり、何か取り組んでいる。	2.7	2.6	10.9%	41.4%	42.2%	5.5%
地域・連携	17 学校は保護者とのコミュニケーションを大切にしている。	3.3	3.2	30.5%	62.5%	6.3%	0.8%
	18 PTA活動の在り方は適切である。	3.4	3.4	42.2%	52.3%	4.7%	0.8%
	19 学校の職員の対応は適切で誠意がある。	3.6	3.6	56.3%	43.8%	0.0%	0.0%
人権	20 子どもは周囲や相手のことを思いやって生活できている。	3.3	3.4	40.6%	53.9%	5.5%	0.0%

令和7年度 長崎県立小浜高等学校 評価表 (職員用)

4:十分達成できている 3:おおむね達成できている 2:どちらかという達成できていない 1:ほとんど達成できていない

評価項目	具体項目	目標	具体的方策	評価	
				R6	R7
1 学校経営 全職員が共通の理念に立った学校経営に対する教育成果の評価					
(1) 学校経営	学校教育目標	学校教育目標の具現化に努める	目的意識を持った継続的教育実践に取り組む	3.6	3.7
	校務運営	校務運営の充実と推進に努める	報告・連絡・相談(共通理解)の重視に努める 各分掌と各学年間の連携の緊密化を図る	3.6 3.5	3.8 3.8
(2) 学年経営	(第1学年)	伝統ある小浜高等学校の一員であるという自覚を持たせ、気づき、考え、行動できる誠実な人の育成を目指す。また、集団生活を通して自分を見つめることで、自分自身の可能性を見出し、将来への目標を持たせる。	週末課題や「ハマナビ」を通して、意欲的に学習に取り組ませる	3.3	3.3
			保護者との連絡を図りながら、基本的生活習慣を身につけさせる	3.4	3.5
			個人面談や進路希望調査などを通し、適性に応じたワランク上の進路目標を考えさせる	3.2	3.7
	(第2学年)	伝統ある小浜高校の一員であるという自覚をもたせ、より良い学校生活が送れるように、自分に対しても他人に対しても誠実な行動がとれる人間の育成を目指す。また、進路実現のための取り組みを深め、進路目標を明確にする。	学校行事や部活動・生徒会活動に積極的に取り組み、上級生との交流を通して達成感や社会性・協調性を育てる	3.9	3.8
			保護者と連携を図りながら、基本的生活習慣を身につけさせる	3.3	3.6
			各教科との連携を深めながら授業を大切にすることを育て、学力向上に努めさせる	3.3	3.6
(第3学年)	伝統ある小浜高校の最高学年としての自覚を持たせ、よりよい学校生活が送れるように、自分に対しても他人に対しても誠実な行動がとれる人間の育成を目指す。また、進路目標を明確にし、進路実現の為の取り組みをさせる。	インターンシップや進路ガイダンスを通して、進路意識を醸成し、進路実現の意識を高める	3.6	3.4	
		学校行事や部活動・生徒会活動に中堅学年として積極的に取り組み、リーダーの育成に努める	3.6	3.7	
		端正な身なり、相手に届く挨拶、時間厳守などの基本的生活習慣を身につけさせる	3.3	3.5	
(3) 学年経営	(第3学年)	自発的な学習態度を養成し、家庭学習の習慣化を図る	個人面談や三者面談を通して、進路目標を明確にし、希望する進路を実現させる	4.0	3.9
			学校行事や部活動・生徒会活動に積極的に取り組み、達成感や感動する心を育てる	3.8	4.0
2 教育活動 教育全般における計画的、組織的な教育成果の評価					
(1) 教育課程の編成	教育課程の編成	教育課程を精査し、教育成果の向上を図る。 新教育課程の研究を継続して進める。	現行の教育課程を調査し、より教育成果のあがるものにする	3.4	3.7
			身につけさせたい学力と進路の保障が実現できるように教育課程を編成する	3.4	3.6
学習指導					
① 各教科	学習指導の充実強化	基礎学力の向上に努め、学力の向上を図る。	授業時間を確保し、教育課程の円滑な実施を行う	3.5	3.8
			基礎基本の定着と向上のために授業等で指導方法の工夫・改善を行う	3.6	3.8
② 特別活動	特別活動	本校生徒としての自覚と自負を養うとともに、地域との連帯を深め、健全な校風を確立する。	少人数・習熟度別の授業を取り入れ、学習指導の工夫を図る	3.8	3.8
			計画的に年間活動に配置し、積極的に運用する	3.6	3.8
③ 総合的な探究の時間	総合的な学習	各学年・教科と連携を深め、学習効果を高める。	各行事に積極的に参加させる	3.7	3.9
			社会体験活動などを計画し、実施する	3.6	3.7
④ 朝の読書	朝の読書	落ち着いた環境づくりに努める	自己理解を深めさせ、進路について考えさせる機会を充実させる。	3.4	3.5
			教務部図書係との連携を図る	3.0	3.4
⑤ その他の活動	視聴覚	学習効果を高めるための視聴覚機器の利用をはかる	落ち着いた環境づくりに努める	3.5	3.6
			視聴覚機器の利用促進をすすめるため、職員研修を随時おこなう	3.5	3.5
		授業の補助手段として視聴覚機器の利用を円滑にする		3.7	3.7

評価項目	具体項目	目標	具体的方策	評価		
				R6	R7	
(3)	生徒会	学校行事	年間行事に適切に位置づけ、全校で取り組む。	学校行事を計画的に実施する	3.9	4.0
			学校行事の意義を理解させ、積極的に参加させる	3.8	4.0	
(4)	生徒支援	生徒指導	生徒の自己実現を援助し、生徒を生かすための組織的指導体制を確立する。	基本的生活習慣の確立を図り、社会性の育成をするための生徒指導を全職員で推進する	3.5	3.7
				生徒を生かすための組織的な指導体制を確立する	3.2	3.3
				生徒をとりまく地域社会との連携と協力を図る	3.5	3.8
	教育相談	学級・学年・分掌間の連携を密にし、問題を抱える生徒の早期発見とその援助に努める。また、各種研修会への積極的な参加呼びかけと、校内研修会を開催し、意識を高めるとともに組織的な指導体制を確立する。	生徒情報を収集し、学級担任と情報を共有するとともに、学年や他分掌との連携を密に行い、いじめ予防や不適応生徒の早期発見・対応に努める	3.8	4.0	
			問題を抱える生徒個人について、解決方向を共に模索し適切な援助を与えるよう努力し、関係専門機関へ繋げる。	3.9	4.0	
			研修会に積極的に参加し、また校内研修会を実施し、教育相談の意識と技術の向上に努める	3.5	3.6	
(5)	進路指導	学年や教科と連携しながら、個々の生徒に応じた進路指導を行い、進路の実現を図る。	関係専門機関との連携を深め、特別な配慮を要する生徒も含めた適切な進路実現を支援する	3.8	3.9	
			教科と連携しながらハマナビや補習、実力・模擬試験を計画通り実施し、個々の生徒に応じた進路指導を行う	3.7	3.9	
			企業や学校との情報交換を積極的に行い、学年と連携しながら3年生の進路実現を図る	3.7	3.9	
			最新の進路動向についての研修を深め、先取的な取り組みを実践する	3.3	3.5	
(6)	図書指導	読書の習慣化	貸し出し数の向上を図る	2.7	3.2	
			活用しやすい図書館運営を行う。	図書およびその資料を収集・整理・保存を積極的に行う	3.2	3.4
(7)	保健指導	保健指導	心身の健康問題を持つ生徒への対応・応急処置を適切に行う	3.7	3.8	
			適切に心身を管理し、積極的に保健衛生に取り組む姿勢を育てる。	積極的な保健衛生の啓蒙により、生徒の健康の保持増進を図る	3.5	3.8
			感染症拡大等の防止に備え、手洗い・うがいの習慣化に取り組む	3.2	3.5	
(8)	美化指導	環境の美化指導	校内美化の徹底を図る。	大掃除計画、清掃用具の管理を計画的におこなう。また、校内美化のために美化委員を積極的に活動させる	3.5	3.7
(9)	生徒会・部活動	生徒会活動	生徒会役員やHR役員の自発性を大切に、リーダーシップを確立するために、様々な支援を行う	3.6	3.9	
			生徒会が生徒全体のリーダーとなり、企画・運営を積極的に行う。生徒全員が取り組む生徒会行事を図る。	生徒会行事を工夫し、クラスの積極的な参加を図る	3.7	3.8
			各分掌・学年との連携を図り、運営の円滑化に努める。	3.4	3.4	
		部活動	活発な活動状況を図り、生徒の活躍の場を広げる。	部活動の活性化を図り、生徒の活躍の場を広げる	3.2	3.4
(10)	人権・同和教育	人権・同和教育	機会ある事に、人権等にふれる教育活動を行う。	全校集会や人権教育講話等を計画的に利用し、人権・命のあり方を考察させる	3.5	3.8
			職員の研修参加の機会を積極的に保障する	3.4	3.6	

評価項目	具体項目	目標	具体的方策	評価	
				R6	R7
3 組織運営 教育活動の円滑化、教師集団の協働性に関わる教育的成果の評価					
(1) 校務分掌	校内分掌	各学年や分掌間の連携を図り、効率的で充実した教育活動に努める。	各学年や分掌の課題を明らかにし、協力して教育活動に取り組む	3.5	3.9
			教職員が分掌での役割を十分に自覚し、協力して円滑な学校運営にあたる	3.5	3.8
(2) 校内研修	校内研修	研修内容を充実させ、職員の指導力向上を図る。	各教科で研究授業や公開授業を計画する	3.5	3.7
			校内の職員研修会を3回は実施する	3.3	3.6
			各種研修へ積極的に参加する	3.2	3.5
4 教育環境 学校の置かれている条件や環境に関わる教育成果の評価					
(1) 教育環境の整備	教育環境の整備	教育環境の整備に努め、有効に活用する。また、新校舎の維持・管理に努める。	現有の教育施設を有効に活用する	3.7	3.8
			校舎内外の巡視を行い、危険箇所等の早期発見に努める	3.7	3.8
(2) 施設・設備の管理	施設・設備	安全で効果的な教育活動が実践できるように施設・設備の管理に努める。	安全に教育活動が行えるように、施設・設備の点検、整備に努める	3.8	3.8
			現有の施設・設備を有効に活用できるように、定期的に点検、整備に努める	3.7	3.9
5 開かれた学校					
(1) PTA活動支援	PTA活動の組織化、活性化	保護者と協力し、PTA活動の充実に努め、生徒の教育活動に携わる。	各種委員会を中心にPTA活動の活性化に努める	3.5	3.8
			PTA新聞「香爐」の発行、地域清掃活動、研修会参加を積極的にすすめる	3.5	3.8
(2) 地域との連携	地域との連携	各種催し物に、職員・生徒が可能な限り参加し活動する。	生徒の活躍をHPを利用して積極的に発信する	3.7	3.7
			地域の公的機関と連携し、協力を得ながら本校の教育活動をすすめる	3.6	3.8

1 評価の実施期日

・ 2月27日（金）

2 委員

・ 学校評議員4名

3 学校関係者評価の内容及び対応

(1) 韓国人の観光客も少しずつ増えており、地元の方が韓国語講座の実施を求めている方もいらっしゃるように思う。

今年度4月から韓国人の講師の先生が本校で勤務されている。現在韓国語講座の実施を検討されている。今年度は中学生とその保護者を対象に検討されているようだが、一般の方も参加可能である。早めに案内する予定である。

(2) 卓球部の高総体団体3位など素晴らしい成績を中学生向けのオープンスクールでもしっかり宣伝してほしい。(現役の大学生で頑張っている卒業生の紹介も)

中学生向けのオープンスクールについては、広報の担当者を中心に準備している。本校の魅力をどのように伝えるべきか、研究を重ねていきたい。

(3) 高校の統廃合は今後どのように進んでいくのか。

今後の県立高校の在り方（再編整備）については、その方針や考え方を大綱として整理されて、令和8年6月に公表される予定になっており、新たな学びを創出する魅力的な再編を目指すとしている。

(4) 男子の夏服のストラックスが破れやすいと他の保護者から聞いている。

男子の制服業者にストレッチ素材のストラックスがないか確認する。

(5) 現在人工知能（AI）は、日々進化を続けている。いくらいいアイデアを持っていても、プロンプト（質の良い問い）を考えていかないといけない。また、AIを使っている本人自身が正しいか正しくないか判断する力を身に着ける必要がある。

今年度、人生の達人セミナーで「AI」について、生徒向けに講演をしていただいた。教職員についても若手職員を中心にワークショップを実施し、AI活用促進に向けて取り組んでいる。今後、教職員向けの講演を是非お願いしたい。

(6) 10月に放送された「恩返しバラエティーTAKAHIRO 長崎」の番組について、出演した生徒たちは反応が良く、生徒たちが素晴らしかった。

生徒たちには、TAKAHIROさんが来られることは内緒にしており、当日サプライズゲストで登場していただいた。生徒は小浜の良いところをそれぞれ探し、事前に調べていた。外部の方から好評をいただいている。今後もインスタグラムで小浜の良さを発信していきたい。

(7) 1月に実施された3年生による「上級生体験談」は、1・2年生にとってとても参考になる内容で自分の進路をしっかりと考えるきっかけ作りになったと聞いている。

1・2年生は、3年生の話をしっかり聞いていた。来年度も継続して実施するとともに、より充実した内容になるよう検討していきたい。